



壇上で、手を上げ返事をする一年生

小学校の入学式が四月七日、各小学校で行われました。

当日は、あいにく雨になりましたが、新入学児童らは、お母さんやお父さんに付き添われて元気に入学式に登校しました。

うち、洞爺小学校では、男子七名、女子三名の十名が、入学し、担任の先生が名前を読み上げると、「はい」と明るく返事をしていました。

校長先生からは「おはよう」と挨拶をする、困っている人には声をかけるなど「仲良く」する、なんでも食べて「元気な体」で過ごそうなどの話があり、新入学児童らは、真剣に聞いていました。

また、教育委員長からは、使われないほうがいいが、「必要なときは使ってください。」と防犯ベルを手渡されていました。

さらに、一年生が学校紹介を行い、「分からないことは、なんでも聞いてください。」と新入生らを安心させていました。

一年生らを祝う 入学式や入所式相次ぐ

村内の各学校・各保育所で、四月に相次いで、入学式・入所式が行われました。

四月七日には、各小学校で入学式を行い、洞爺小学校十名、成香小学校三名、香川小学校二名、大原小学校二名のあわせて十七名の新一年生が、誕生しました。



保育所長より黄色い帽子を受取る（洞爺保育所）

校で入学式があり、十一名が新たに中学生の仲間入りをしました。

太田校長は「大人へと歩み出す大切な期間、基礎知識をしっかり勉強するところです。」と中学生としての自覚を促していました。

さらに、四月九日には、洞爺高等学校で、二十九名の新



来賓の話聞く児童（さくら保育所）

入生が入学式に臨みました。望月校長は、開校五十五年の伝統と生活ビジネス科を有する特色のある学校であると紹介し「あきらめずに、継続して学び、夢や希望の実現に努めてほしい。」と挨拶しました。

蓮井教育委員長は「卒業までに多様な資格を取得する生徒もいる。教科学習、集団生活等で日々努力し、能動的な姿勢で意義ある三年間を過ごしてほしい。」と激励しました。後藤PTA会長は「都会の



式辞を述べる太田校長（洞爺中学校）

便利さはないが、豊かな自然と生活全般にわたり、遠方へも駆けつけ心細やかに援助、指導してくれる素晴らしい先生や指導者が揃っています。」と新入生や参列した父母らを、祝福しました。

また、四月二日、洞爺保育所で、二十七名の子どもたちが、お母さんらとともに元気に入所式に臨みました。桑原教育長から「先生たちがいろいろ教えてくれます。みんなで仲良く遊んでください。」と挨拶がありました。



立ち上がって返事をする高校一年生

洞爺小学校刑部校長からは「元氣よく挨拶しましょう、自分で着替えができるようになりましょう。」と励ましを受けました。

続いて、高台三地区の子どもが集まる、さくら保育所の入所式が、四月五日、大原ふるさと会館で行われました。

今年十五名の子どもたちを迎えた大原地区では、大原小学校の高丸校長が「皆さんが来るのを、地域の人たちがみんなが待っていました。」と歓迎の挨拶を述べ、手をつないだ絵を用意し「このように手をつなぐと、仲良くなれます。」と子どもたちに語りかけました。

そして洞爺村交通安全村民運動推進委員会より贈られた黄色い帽子を教育長から「車に気をつけてね。」と声をかけられながらかぶせてもらっていました。

洞爺村国際彫刻ビエンナーレ 2005

開催準備開始

平成五年から二年に一度開催されている「洞爺村国際彫刻ビエンナーレ」は、《手のひらの宇宙》をテーマとした、作品の大きさが20cm×30cm×

40cm以内の国際的な小型彫刻展です。

今年で第七回目の開催となり、今や国内外を問わず世界中から注目を集める彫刻展と

なっています。

ビエンナーレ2005の開催に向けては、昨年より村民の皆様にご協力をいただき、

「今後のビエンナーレのあり方に関する検討委員会」を設け、ビエンナーレのより一層の発展と、第七回目の開催を前に今一度原点に立ち返り、村民

一丸となった地域づくり事業としていくため、どうしていくべきかについて協議・検討をいたしました。

検討委員会において協議・検討した事項については、ビエンナーレ実施委員会にて再検討し、ビエンナーレ実施委員会、企画五十人委員会の組織を大幅に改編いたしました。また、今後ビエンナーレ展覧会やサブイベントなどについても企画五十人委員会を通じて検討し、素晴らしいビエ

ンナーレとなるよう進めてまいりたいと考えております。また、四月十五日には、新企画五十人委員会を発足いたしました。

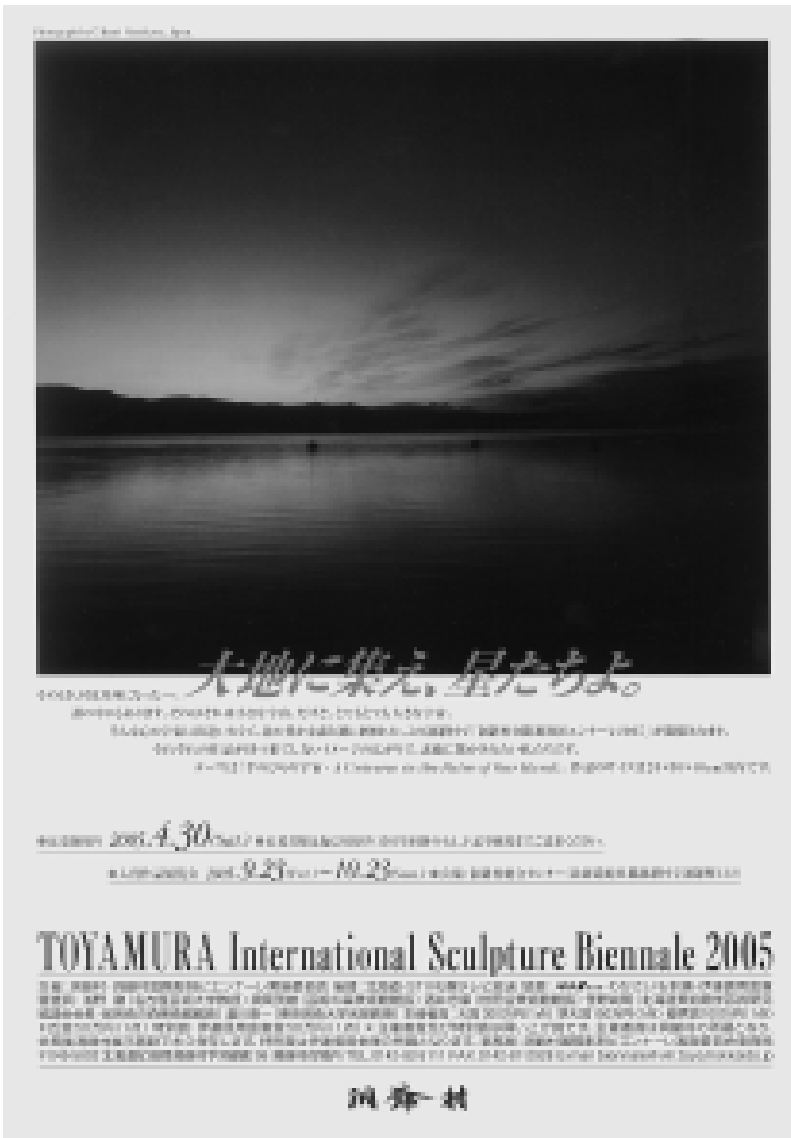
統括部長には京谷常美さん、統括副部長には蓮井勇さんが就任いたしました。

ビエンナーレ2005の開催日程につきましては、次のとおりとなっております。

▼応募締切り
四月三十日

▼F氏賞村民投票
八月一日～八月三日
総合センター

▼展覧会
九月二十三日
～十月二十三日
総合センター



ビエンナーレ2005ポスター



第1回50人委員会の様子

地域の要望・意見に答える

自治会長会議開催

今年度の春の自治会長会議が、四月二十二日総合センターで行われました。

会議では、今年度実施される村の主な事業について、各課より説明を行った後、地域からの意見、要望について、村から回答を行いました。主な内容は、次のとおりです。



村の説明を聞く自治会長

〔自治会館について〕

財田集会所の暖房の温度調整が困難になっています。

更新を考えています。

大原ふるさと会館の電気料の負担は大きく、最終的には地域で負担とのことだが、長く援助を続けてほしい。

村全体の会館管理との関係もあり、これまでの考え方で協力をお願いします。

自治会館の電気の契約アンペアを下げてほしい。

建物に必要な契約であり必要な時に電気が使えないことになりかねず、今までとおりお願いします。

〔防災サイレンについて〕

成香防災用サイレンを更新する際に、虹田町と規格を

合わせて整備をお願いしたい。

合併に向けて虹田町方式に合わせ、防災無線等関係施設を洞爺湖町として整備してま

〔携帯電話について〕

富丘区域では携帯電話等の送受信が行えず、住民の不安が大きいので、村もNTT等に改善要請してほしい。

携帯電話について、NTTドコモへ協議したが、中継局設置や対象戸数等で、現段階での対応はできない旨の回答だった。今後機会あることに要望してまいるたい。

〔いっこの家について〕

入館料が老人は無料で、その他は有料というのは、不公平ではないか。

高齢者や障害者に対する福祉施策として実施してきたが、平成十七年度に合併協議と合わせて、有料化について検討してまいるたい。

いっこの家を禁煙としているが、喫煙場所を確保すべきでないか。

分煙を試したが、苦情が多く、今後改修を計画する中で分煙室等を考えたい。当面禁煙でお願いします。

〔クリーン作戦について〕

クリーン作戦の予算は具体的には何か。

クリーン作戦の参加時にPRのため、かかってもらう帽子の予算となっています。

〔防犯について〕

村道大原・富丘線の一部で夜間に若者が一般者の通行を制限し、暴走行為が頻繁に行われ、住民は危険で不安な思いをしている。警察と連携して取り締まってほしい。

騒音、犯罪防止のため、住民、自治会長からの通報に基づき、行政・警察が連携し、取り締まっています。

安全安心の村づくりについては、どんなことを考えているか。

見守りの活動をする方にウインドブレーカーを着て啓発してもらったり、駆け込みの家の旗補充、車や家に貼るステッカーを考えています。

〔道路について〕

村道に穴があいて凹凸だったり排水口が詰まっていたり、除雪で民地に石や土が入っているので、村道の維持管理をしてほしい。

維持補修箇所を調査し、取りまとめており、まとも次第、補修します。

国道二三〇号線の新しい道道豊浦洞爺線との交点と旧道道不動坂との交点の区間が冬期間吹雪いて危険なので、除雪して不動坂を冬期間も通行できるようにしてほしい。

防雪柵を開発局に要望しているが、検討中との回答を得ている。不動坂は幅員が狭く、

勾配もきつく危険なため道道の切替工事をした。村に管理権が譲渡されれば、冬期間の通行止め期間の短縮等を検討してまいりたい。

道道豊浦洞爺線と国道三三〇号線の交点は、照明もなく、見えづらく危険、開発等に改善要請してほしい。

答 開発局及び土木現業所に照明設置してほしい旨要望しており、信号機も公安委員会に要望しています。

香川地区の国道三三〇号が拡幅されたが、標識が路肩ぎりぎりに設置され、見通しが悪く危険、移設してほしい。

答 開発局が現地を確認し検討することになっています。

道道岩内洞爺線と国道三三〇号の交点は、見通しが悪く信号機の設置を要望したい。

答 開発局に要望しているが、信号機を設置すると勾配があつて札幌方面へ向かう車線で

追突の危険があり、右折たまりを設置して安全確保を図っています。

〔交通安全について〕

交通安全協会について、会員増やすため、連合自治会や村の支援をお願いしたい。交通安全協会と話をしています。

〔公営住宅について〕

美沢団地は、予算の都合で建設計画を見直すと聞いたが、どうか。

答 国の制度が変わり、計画変更になった。新制度が判明次第、新たな建設計画の策定を予定しています。

三号棟のベランダに、雨や雪が入る。屋根の傾斜からすぐ下のブロック住宅に雪が落ちる危険がある。被害防止の方策はないか。

答 屋根の形状を考慮し、旧美沢団地住民については、後ろへの転居を考えてまいりたい。

〔スクールバスについて〕

小学校の統合を控え、現行のスクールバスの運行ダイヤを見直し、富丘自治会内の小学生の通学手段の確保をお願いしたい。

答 小学校統合に向けて、検討しているところです。

〔学校の統合について〕

小学校の閉校による行事のため、予算措置をお願いしたい。

答 各小学校で準備を進めており、全体の計画をみて判断してまいりたい。

学校の跡地利用について、合併前に進めてほしい。

答 関係課を集めたワーキンググループの立ち上げを予定している。PTAや自治会長を含む地域調整部会でも、資料提供するので一緒に考えていただきたい。



信金移転の記念式典でテープカットする関係者

**伊達信金洞爺出張所が
洞爺・水の駅内に移転
土日・祝日もATM稼働**

伊達信用金庫（栗木恭一理事長）の洞爺温泉支店洞爺出張所が、洞爺・水の駅内に移転することになり、四月二十五日、関係者が出席して記念式典が行われました。

栗木理事長は、「ATM（現金自動預払機）が土日も稼働し、地域の観光振興にも役に立てると思う。今後も地域の金融機関として役割を果たし



土日・祝日も稼働するATM

ていきたい。」と挨拶しました。菊地村長は、「移転により、観光の拠点施設としての水の駅の機能向上が期待できる。」とお祝いの言葉を述べました。

新しい出張所は、正面左側にあり、窓口業務は平日の午前九時から午後四時までと従来どおり、ATMは、平日、土曜、日曜、祝日も午前九時から午後五時まで利用できます。

ただし、土曜、日曜、祝日の取扱業務は現金引き出しと残高照会のみとなっています。



交差点では左右と後方を確認します



青空教室で駐在所長の話を聞く子どもたち



道路清掃にも力が入る皆さん



湖畔清掃に励む皆さん

自転車も安全運転を

〜洞爺小で青空教室

四月十八日、洞爺小学校で自転車の正しい乗り方を中心とした交通安全のための青空教室が開かれました。

当日は、文字どおり青空に恵まれ、自転車を押して集まった洞爺小の四、六年生の児童は、伊達警察署洞爺駐在所長の玉手さんの話を聞いた後決められたコースを自転車の正しい乗り方に挑戦しました。交差点ごとにお母さんたちや担任の先生たちが立って見守り、一時間ほどで全員が無事校庭に戻りました。

玉手さんから「おおむね良好でしたが、交差点で何人も詰まって、後方確認を忘れた子もいました。自分で命を守らなければ誰も守ってくれません。」と反省点が述べられました。また、刑部校長から過去に勤務した学校で、「児童の乗った自転車と子供を学校に送ってきた母親の車がぶつか

った」という話を聞き、児童らは、車も自転車もともに安全運転が必要と改めて感じた様子でした。

春の市街地一斉清掃行っ

四月二十日、春の市街地一斉清掃が、多くの住民の皆さんの協力を得て実施されました。

当日は、曇りの肌寒い天候のなか、ゴミ袋やスコップなどを持って集まった皆さんは、早朝六時から割り当て区域の湖畔や道路、自宅周辺ゴミを拾い、落ち葉などを集め竹箒で道路のごみを掃いて、汗を流していました。

雪解けの遅かった村も、これから多くの観光客を迎える季節となります。

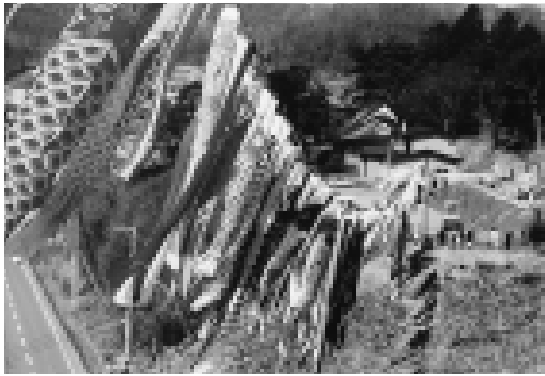
皆さんの清掃により、住民がきれいな環境で生活できるとともに、観光、行楽で訪れる人たちにも美しい地域と喜ばれるよう、今後もご協力をお願いします。



久しぶりにパークゴルフを楽しむ愛好者



黄色いランドセルカバーをもらう一年生



一斉に揚げられた鯉のぼり



鯉のぼりを揚げる準備を行う皆さん

みんなで交通ルールを守ろう

交通安全運動を推進

春の全国交通安全運動が、四月六日から十五日まで実施されました。

洞爺村でも交通安全村民運動推進委員会が、保育所児童や小学一年生に、黄色の帽子やランドセルカバーなど安全グッズを贈り、交通安全の啓発に努めました。

期間中毎朝、村交通指導員や先生、村職員らは駐在所と連携した路上指導や広報車で交通安全を訴えました。

洞爺ふれあいパークがオープン

四月二十三日、小雪が時折舞う日に、洞爺ふれあいパークがオープンを迎えました。寒さのためこの日は訪れる住民は、見られませんが、翌二十四日は一転して晴れ渡り、午前十時過ぎには二組のグループがパークゴルフを楽しんでいました。

久しぶりのためか、皆さん本来の感覚を取り戻してない様子でしたが、澄んだ空気のおかげで、ボールをたたく心地よい音が響いていました。

青空に泳いだ鯉のぼり

この数年この時期に、五月の子どもの日にちなんで、洞爺寺の駐車場の端から財田方向の道路沿いに、大量の鯉のぼりが連なり、住民や観光客の目を楽しませています。

今年も、四月二十四日午前九時前より、財田の清本博三さんほか洞爺に鯉のぼりを飾る会の有志、親子連れ十数名が集まり、作業を始めて二時間ほどで、鯉のぼりの大群が一斉に晴れ渡った青空を泳ぎました。

村内の各家庭などから譲り受けた鯉のぼりは、百メートル以上の長さのワイヤーに適度な間隔でしっかりと結ばれ、重機で引き上げられると、作業していた皆さんの歓声が沸き起こっていました。

消防の技術向上と連携

春の消防演習

四月二十二日、午後五時三十分、いこいの家から出火したとの想定での消防演習が行わ



いこいの家の出火を想定した消防演習

れました。いこいの家からの「火事です。客は避難中です。」との一九番通報で、西胆振消防組合洞爺支署、洞爺消防団、洞爺温泉分署の各隊が、ただちに出勤しました。

さらに、「客が一名不明」との想定での救助活動や洞爺温泉の消防車も加わって二車両から放水を行い、水槽車も中継送水を行いました。

万が一の火災に備え、消防技術の向上や各隊の連携が必要であり、団員や職員らは真剣に演習に取り組んでいました。

「洞爺村個人情報保護条例」を平成17年4月1日から施行

この条例は、個人情報の保護を徹底するために制定されました。

村が保有する個人情報に対して「目的を明らかにし、必要な範囲の情報を原則本人から収集すること」、「適正に管理すること」などを定め、プライバシーの保護を図ります。

行政相談員に星野さん委嘱される

行政相談員の任期が、この三月末で満了しましたが、当村担当の星野守行さんは、引き続き四月一日付けで総務大臣から行政相談員に委嘱されました。

行政相談員は、役所と皆さんのパイプ役です！



皆さんから年金、登記、道路、河川、郵便、窓口サービスなど、役所の業務についての苦情、要望、意見をお聞きして改善を図ります。相談は、無料で秘密を守ります。

口頭、電話、手紙で行政相談員にお申し出ください。
洞爺村字洞爺町四一二

☎八二一五六六八

誕生

おめでとーございませう

山田 葵ちゃん

父 博久さん

母 貴子さん

4月2日生まれ 次女

香川

おくやみ

申し上げます

伊藤 忠男さん

4月7日死去 57歳

曙

□橋 正勝さん

4月13日死去 94歳

財田

